



2021年12月期 第3四半期 決算説明資料

2021年11月11日
富士ソフト 株式会社



目次

2021年 12 月期 第 3 四半期 決算

P2. 連結業績ハイライト

P5. 主なグループ会社売上高・営業利益

P6. 連結セグメント別売上高・営業利益

P7. 連結損益計算書

P8. 連結貸借対照表

P9. 連結キャッシュ・フロー計算書

P10. 連結 S I 事業の受注高・受注残高



1.連結業績ハイライト① (3Q累計1-9月実績)

売上高はプロダクト・サービスおよびシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は金融業向け開発およびシステムインフラ構築案件が好調に推移し、プロダクト・サービスではハードウェア製品販売が好調に推移したことにより、前同比107.2%の194,833百万円となりました。

営業利益は一過性の不採算案件があったものの、増収などにより増益

◇営業利益は、一過性の不採算案件があったものの、増収および販管費の増加を抑制したことにより、前同比105.3%の13,308百万円となりました。

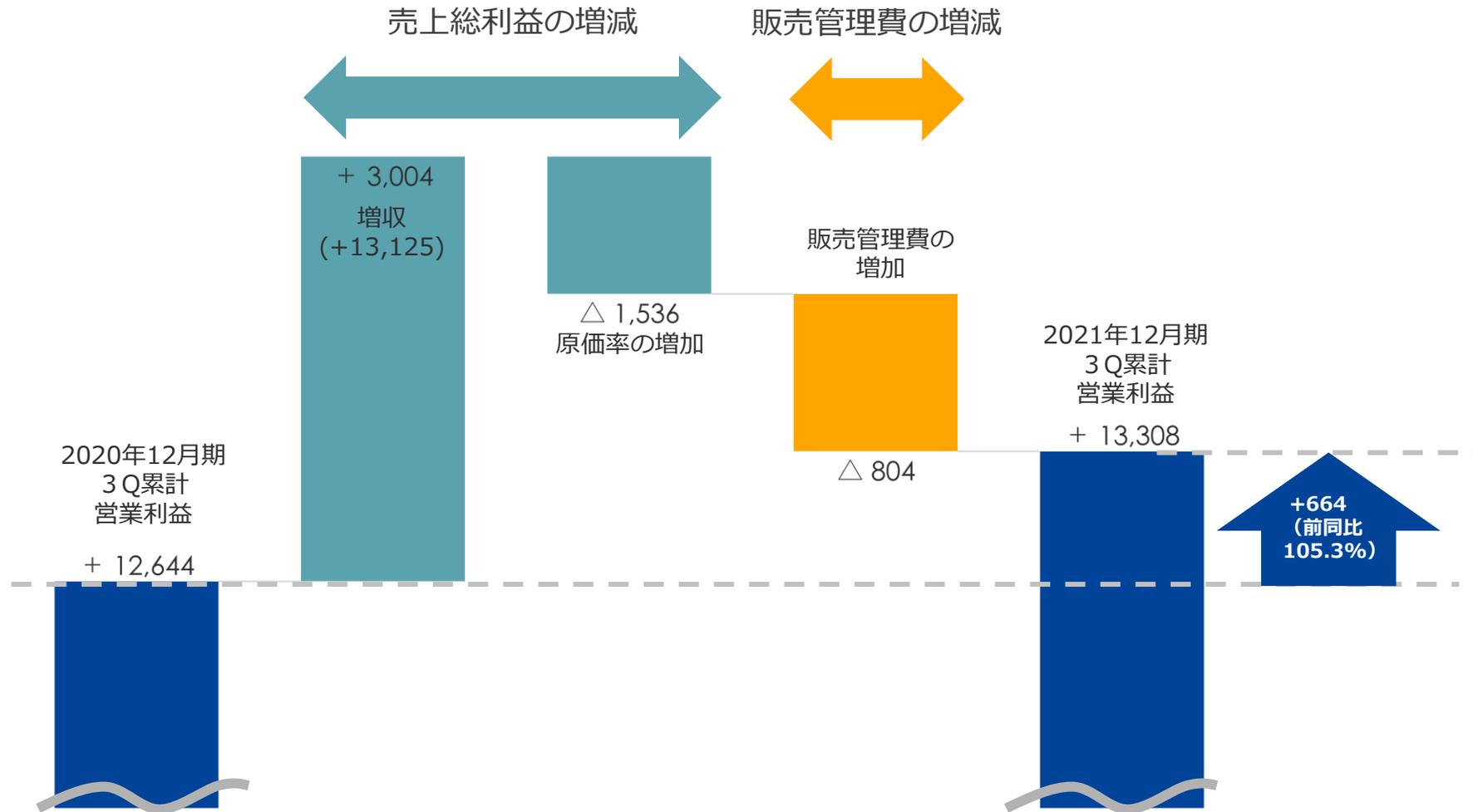
◇経常利益は、増収および為替差益の増加等により前同比109.3%の14,142百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却による特別利益の増加等により前同比116.8%の7,274百万円となりました。

(単位：百万円)

	2020年12月期 3Q累計実績	2021年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2021年12月期 3Q累計計画	計画比
売上高	181,708	194,833	+13,125	107.2%	185,400	105.1%
営業利益	12,644	13,308	+664	105.3%	12,400	107.3%
営業利益率	7.0%	6.8%			6.7%	
経常利益	12,936	14,142	+1,206	109.3%	12,650	111.8%
経常利益率	7.1%	7.3%			6.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,229	7,274	+1,044	116.8%	6,450	112.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.4%	3.7%			3.5%	

連結営業利益の状況（3Q累計）



1.連結業績ハイライト②（3Q区間7-9月実績）

第3四半期はシステム構築分野が増加、プロダクト・サービスが減少し、売上構成が変化

- ◇システム構築分野は、第2四半期まで緩やかな回復に留まっていた組込・制御系ソフトウェアの成長加速や、業務系ソフトウェアの好調継続により増加した一方、プロダクト・サービス分野は、前年の大型他社ライセンス販売案件の反動などにより減少しました。
- ◇その結果、売上高は前同比105.4%の62,325百万円となりました。

売上原価率は第2四半期累計に対して減少(改善)

- ◇売上原価率は、収益性の高いシステム構築分野が拡大したことにより、第2四半期累計の78.2%から77.3%に減少(改善)しました。

販売費及び一般管理費の増加抑制により、営業利益は前同比109.0%と増加

- ◇販売費及び一般管理費は、受注体制強化を継続したものの、経費支出を抑制した結果、前年同期から336百万円の増加に留まり、営業利益は前同比109.0%の4,576百万円となりました。
(単位：百万円)

	2021年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比	2021年12月期 3Q区間実績	前同差	前同比
売上高	132,508	+9,939	108.1%	62,325	+3,185	105.4%
売上原価	103,566	+9,186	109.7%	48,207	+2,471	105.4%
売上原価率	78.2%			77.3%		
売上総利益	28,942	+753	102.7%	14,117	+714	105.3%
販売費及び一般管理費	20,210	+468	102.4%	9,540	+336	103.7%
営業利益	8,731	+285	103.4%	4,576	+378	109.0%
営業利益率	6.6%			7.3%		



2.主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	3Q累計実績	133,735	7,033	売上高は、業務系では金融業向け開発やシステムインフラ構築、プロダクト・サービスではハードウェア製品販売が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、一過性の不採算案件の発生や、引合拡大に伴う受注体制強化のための先行人員を増加したものの、増収により増益となりました。
	前同差	+9,821	+69	
	前同比	107.9%	101.0%	
サイバネットシステム	3Q累計実績	17,547	2,703	売上高は、国内CAEソリューションサービス事業、台湾、中国、韓国、米国、カナダ等の海外子会社の増収により、増収となりました。営業利益は増収により増益となりました。
	前同差	+967	+106	
	前同比	105.8%	104.1%	
ヴィンクス	3Q累計実績	21,669	1,934	売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外売上の減少はあったものの、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。営業利益は、生産性の向上などにより増益となりました。
	前同差	+1,209	+246	
	前同比	105.9%	114.6%	
サイバーコム	3Q累計実績	11,421	851	売上高は、ソフトウェア開発事業において通信系及び業務系開発案件が好調に推移したことに加え、サービス事業が好調に推移し増収となりました。営業利益は増収及び経費の減少等により増益となりました。
	前同差	+1,267	+174	
	前同比	112.5%	125.8%	
富士ソフト サービスビューロ	3Q累計実績	6,693	452	売上高は、BPOサービス、コールセンターサービスともに地方自治体向けの案件が堅調に推移したものの、民間向けでは新型コロナウイルス感染症の影響による案件規模の縮小などがあり減収となりました。営業利益は、減収および異業種からの市場参入を背景とする価格競争の影響により、減益となりました。
	前同差	△ 206	△ 43	
	前同比	97.0%	91.2%	

※「2021年12月期3Q累計実績」欄には、各社2021年1～9月の実績を記載しています。

3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2021年12月期売上高		前同差	前同比	2021年12月期営業利益		前同差	前同比
	3Q累計実績	構成比			3Q累計実績	営業利益率		
全社計	194,833	100.0%	+13,125	107.2%	13,308	6.8%	+664	105.3%
SI事業	185,389	95.2%	+13,481	107.8%	12,332	6.7%	+622	105.3%
システム構築	108,551	55.7%	+8,221	108.2%	7,131	6.6%	+638	109.8%
組込系／制御系ソフトウェア	50,589	26.0%	+1,475	103.0%	3,644	7.2%	+18	100.5%
業務系ソフトウェア	57,961	29.7%	+6,745	113.2%	3,486	6.0%	+619	121.6%
プロダクト・サービス	76,838	39.4%	+5,260	107.3%	5,200	6.8%	△16	99.7%
プロダクト・サービス	66,696	34.2%	+5,660	109.3%	4,466	6.7%	+8	100.2%
アウトソーシング	10,141	5.2%	△400	96.2%	734	7.2%	△24	96.7%
ファシリティ事業	1,959	1.0%	△22	98.9%	696	35.5%	+32	104.9%
その他事業	7,484	3.8%	△333	95.7%	280	3.7%	+9	103.4%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、機械制御系および社会インフラ系が堅調に推移し、前同比103.0%となりました。

営業利益は、受注体制強化のための先行人員が増加したことや一過性の不採算案件が発生したものの、増収により前同比100.5%となりました。

●業務系ソフトウェア

売上高は、金融業向け、流通・サービス業向け開発およびシステムインフラ構築や官公庁案件が好調に推移し、前同比113.2%となりました。

営業利益は、一過性の不採算案件があったものの、増収により前同比121.6%となりました。

●プロダクト・サービス

売上高は、ハードウェア製品販売が堅調に推移し、前同比109.3%となりました。

営業利益は、自社製品の販売が減少したことにより、前同比100.2%となりました。

●アウトソーシング

売上高は、海外顧客の店舗休業によるサービス利用料の減少等により、前同比96.2%となりました。

営業利益は、減収により前同比96.7%となりました。

4.連結損益計算書

(単位：百万円)

	2020年12月期	2021年12月期	前同差	前同比	2021年12月期	
	3Q累計実績	3Q累計実績			3Q累計計画	計画比
売上高	181,708	194,833	+13,125	107.2%	185,400	105.1%
売上原価	140,116	151,774	+11,657	108.3%	-	-
売上原価率	77.1%	77.9%	①			
売上総利益	41,591	43,059	+1,468	103.5%	-	-
売上総利益率	22.9%	22.1%				
販売費及び一般管理費	28,946	29,750	+804	102.8%	-	-
販管費率	15.9%	15.3%				
営業利益	12,644	13,308	+664	105.3%	12,400	107.3%
営業利益率	7.0%	6.8%	②		6.7%	
営業外収益	376	756	+379	200.9%	-	-
営業外費用	305	94	△ 210	31.1%	-	-
持分法による投資損益	220	172	△ 48	78.1%	-	-
経常利益	12,936	14,142	+1,206	109.3%	12,650	111.8%
経常利益率	7.1%	7.3%			6.8%	
特別利益	224	2,938	+2,714	③	-	-
特別損失	1,092	2,856	+1,764	261.5%	-	-
税金等調整前四半期純利益	12,068	14,224	+2,156	117.9%	-	-
法人税等合計	4,125	4,965	+839	120.4%	-	-
四半期純利益	7,943	9,259	+1,316	116.6%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,713	1,985	+271	115.9%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,229	7,274	+1,044	116.8%	6,450	112.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.4%	3.7%			3.5%	

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (77.9%)

他社ハードウェア製品販売案件増加や一過性の不採算案件などにより増加

② 営業外収益 (+379百万円) 営業外費用 (△210百万円)

営業外収益は、為替差益の増加
営業外費用は前期の為替差損および助成金返還等による減少

③ 特別利益 (+2,714百万円) 特別損失 (+1,764百万円)

特別利益は、政策保有株式売却に伴う投資有価証券売却益による増加
特別損失は、関係会社株式売却損および有形固定資産減損損失による増加



5.連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年12月期 期末	2021年12月期 3Q期末	前期末差	2020年12月期 3Q期末(参考)
流動資産	105,363	107,758	+ 2,394	98,504
現金及び預金	38,330	39,549	+ 1,219	35,148
受取手形及び売掛金	52,750	54,137	+ 1,387	48,085
有価証券	6,000	5,000	△ 1,000	5,500
たな卸資産	5,526	5,043	△ 482	6,192
その他	2,756	4,027	+ 1,270	3,577
固定資産	129,173	119,524	△ 9,649	128,207
有形固定資産	89,928	90,549	+ 620	90,135
無形固定資産	4,705	4,671	△ 34	4,866
投資その他の資産	34,539	24,304	△ 10,235 ①	33,205
資産合計	234,537	227,282	△ 7,254	226,712
流動負債	68,751	59,568	△ 9,182	62,087
支払手形及び買掛金	12,519	12,634	+ 115	11,867
短期借入金	24,156	14,544	△ 9,611 ②	22,503
未払費用・賞与引当金	10,801	12,248	+ 1,447	11,653
未払法人税等	3,155	3,715	+ 559	2,044
工事損失引当金	225	144	△ 81	85
その他	17,892	16,280	△ 1,612	13,932
固定負債	30,623	26,203	△ 4,419	32,463
長期借入金	20,515	17,547	△ 2,968	23,191
その他	10,107	8,656	△ 1,451	9,272
負債合計	99,374	85,771	△ 13,602	94,550
純資産合計	135,163	141,510	+ 6,347	132,161
負債純資産合計	234,537	227,282	△ 7,254	226,712

貸借対照表のポイント

① 投資その他の資産 (△10,235百万円)

政策保有株式売却による投資有価証券の減少

② 短期借入金 (△9,611百万円)

コロナ禍での運転資金確保を目的とした短期借入金の返済

6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2020年12月期 3Q累計実績	2021年12月期 3Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,266	10,513	+1,247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,296	6,302	+19,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,864	△ 14,458	△ 28,322
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 27	351	
現金及び現金同等物の増減額	9,806	2,710	
現金及び現金同等物の期首残高	26,158	37,450	
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,965	40,160	

キャッシュ・フローのポイント

●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は10,513百万円の収入となりました。

なお、増収による入金増加により、前同差は1,247百万円の増加となりました。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は投資有価証券および関係会社株式売却により、6,302百万円の収入となりました。

なお、前期はオフィススペース確保のための建設費用支出があったことにより、前同差は19,598百万円の増加となりました。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は短期借入金の返済などにより、14,458百万円の支出となりました。

なお、前期に運転資金等に関する借入があったことにより、前同差は28,322百万円の減少となりました。

7.連結S I事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2021年12月期 3Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	60,265	110.1%	185,801	106.6%	185,389	107.8%	60,676	106.2%
システム構築	35,768	102.5%	114,510	112.5%	108,551	108.2%	41,727	114.6%
組込系／制御系ソフトウェア	14,075	99.6%	51,828	104.8%	50,589	103.0%	15,314	105.8%
業務系ソフトウェア	21,693	104.5%	62,681	119.7%	57,961	113.2%	26,412	120.5%
プロダクト・サービス	24,496	123.6%	71,290	98.3%	76,838	107.3%	18,948	91.4%
プロダクト・サービス	22,412	130.8%	61,032	97.8%	66,696	109.3%	16,748	90.6%
アウトソーシング	2,084	77.7%	10,257	101.5%	10,141	96.2%	2,200	97.9%

受注高・受注残高のポイント

●システム構築分野のポイント

・組込系/制御系ソフトウェア

受注は、第2四半期まで前年並みで推移していた機械制御系が第3四半期に増加したことなどにより、前同比104.8%となりました。

また、期末受注残高は前同比105.8%となりました。

・業務系ソフトウェア

受注は、金融業および流通・サービスやシステムインフラ構築案件が好調に推移したことにより、前同比119.7%となりました。

また、期末受注残高は前同比120.5%となりました。

●プロダクト・サービス分野のポイント

・プロダクト・サービス

受注は、前年に大型の他社ライセンスおよびハードウェア販売案件があったことにより、前同比97.8%となりました。また、期末受注残高は前同比90.6%となりました。

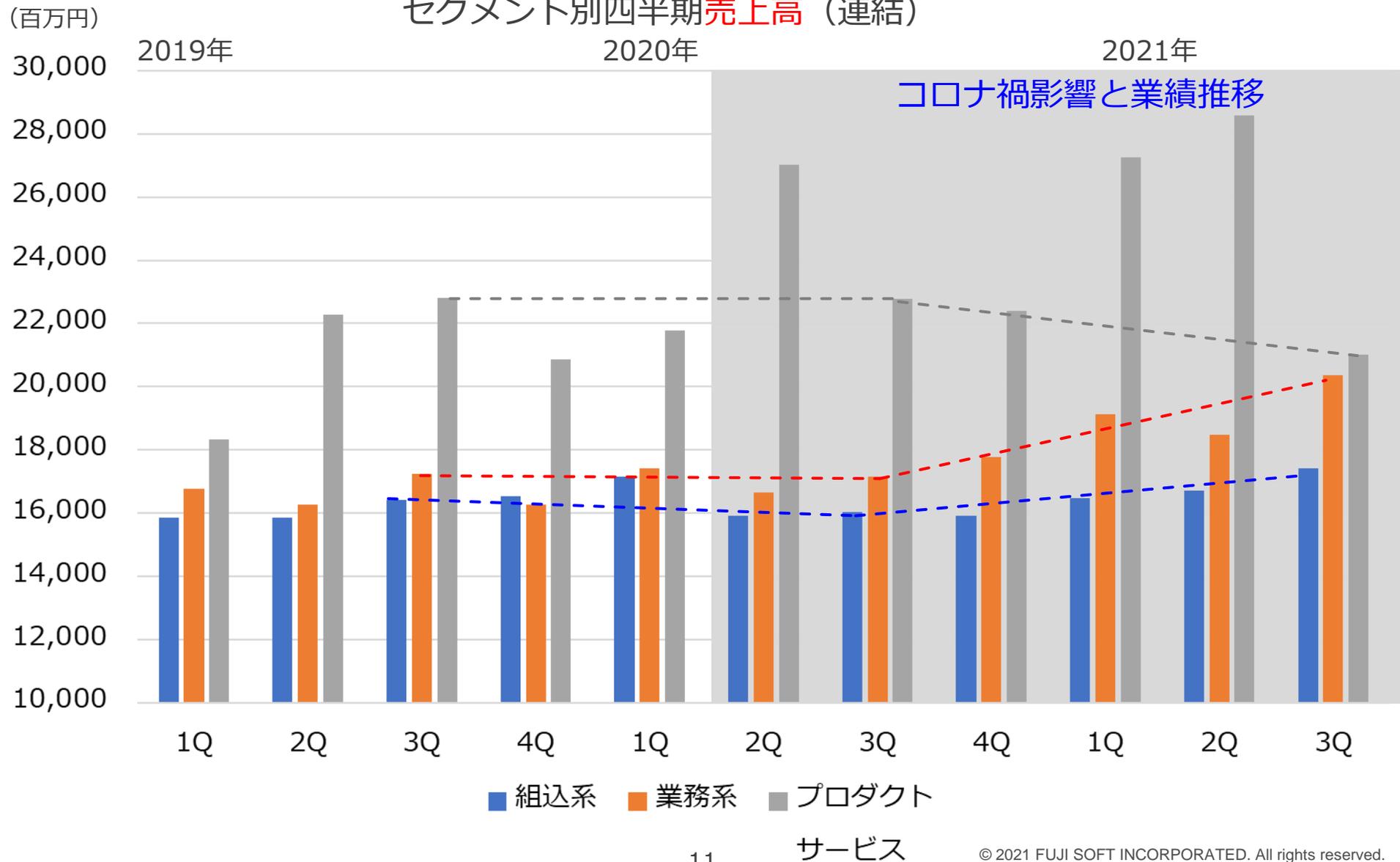
・アウトソーシング

受注は、流通業向けサービスは減少したものの、運用保守案件の増加等により、前同比101.5%となりました。また、期末受注残高は前同比97.9%となりました。



四半期別業績推移（2019年～2021年3Q）

セグメント別四半期売上高（連結）





四半期別業績推移 (2019年～2021年3Q)

セグメント別四半期受注高 (連結)

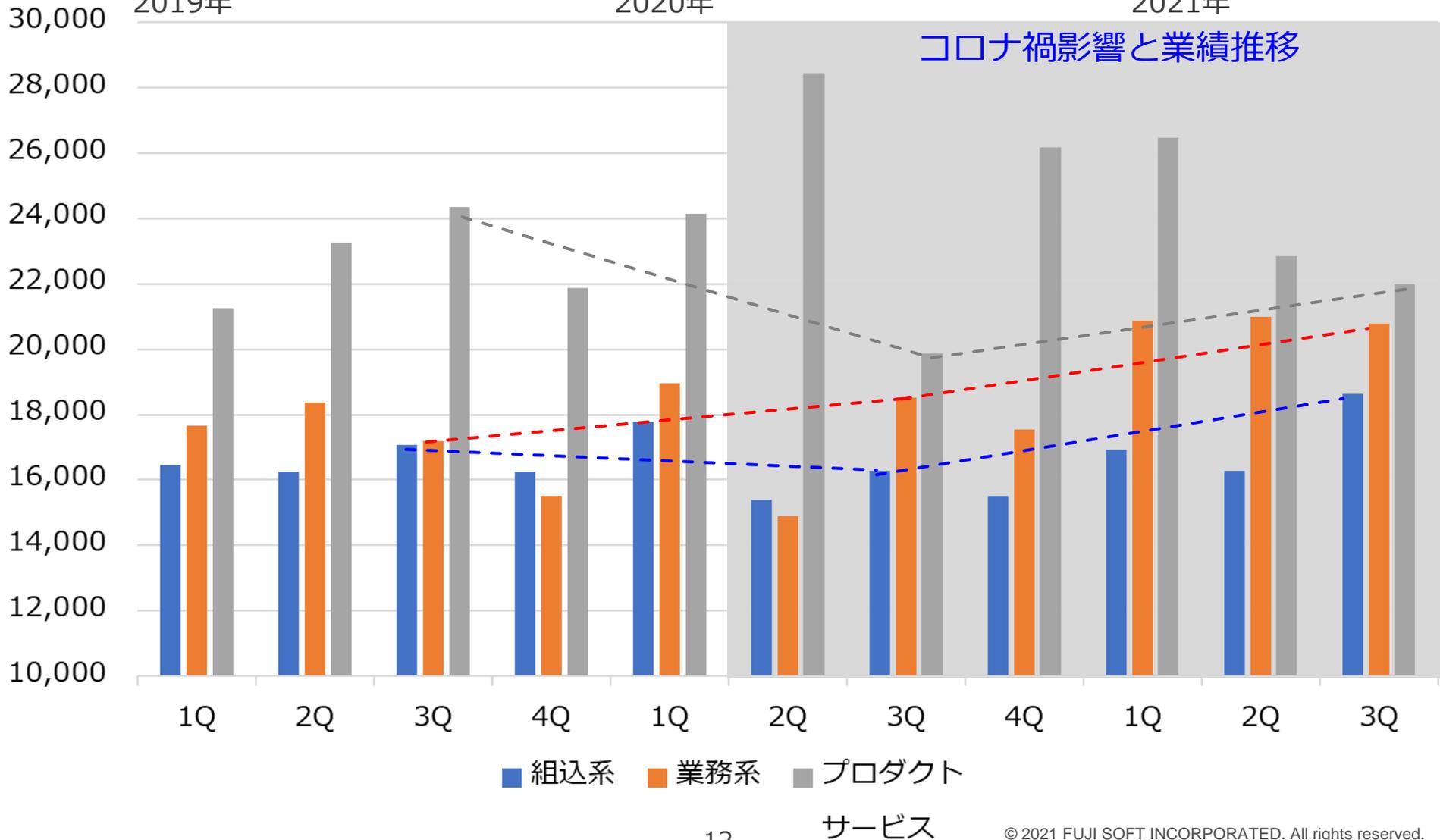
(百万円)

2019年

2020年

2021年

コロナ禍影響と業績推移





※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。